スライド１

障害者の自立生活から

ソーシャルビジネスへの可能性？

事務局長　林 君 潔

スライド２

自己紹介

1、台湾台北市出身。骨形成不全症。

2、小学校就学拒否。施設に8ヶ月入院。

3、国立台北大学司法学部卒

１～３　家族24時間介助

4、ダスキン第六期研修生

5、台北市新活力自立生活協会　事務局長

6、International Visitor Leadership Program In U.S

４～６　自立して制度を変える

7、台北市心身障害者権利保障委員会委員、国家公務員研修センター講師

スライド３

社会モデルのインパクト

写真：CILでの研修

写真：スキー

写真：集合写真

写真：車を運転するリンさん

写真：ゼッケンをつけた仲間たちとの集合写真

写真：お花見

台湾で重度障害者だった私は、日本に来て「障害」がなくなって、自由になった！

スライド４

台北市新活力自立生活協会

1、意思決定機関の過半数が障害者である

2、障害種別を越える

3、介助サービス、自立相談サービス

4、ピアサポート

5、バリアフリーチェック

6、啓発活動＆権利擁護

人權団体、女性、LGBT、原住民、ホームレス、弁護士団体…などのネットワーキング

スライド５

2007年　台湾で初めての自立生活センター設立

2009年　共同募金会の助成金で自立生活のパイロットプロジェクトを始めた

2011年　介助サービスとピアサポートサービスが国の制度になった

2014年に職場介助サービスもできた！

2018年　国から自立生活センター運営するための予算が出た

スライド６

事務所

スタッフ

フルタイム　 ４人

パートタイム ２人

写真：事務所の様子

写真：パソコンに向かって仕事をするスタッフたち

スライド7

自立生活体験室

AI技術を導入

写真：センターの名前が入ったプレート

写真：介助用ベッド

写真：体験室全景

写真：ノートパソコン

スライド８

心身障害者補助用具助成制度の改正運動

写真：会議場に集まっている人びと

スライド９

パキスタン

写真：集合写真

写真：バスに乗っている人びと

スライド10

アジア太平洋障害者連携フォーラム2019 in パキスタン

写真：フォーラム会場内での集合写真

スライド11

Milestone

(Society for the Special Persons)

さくら工房 / 車イス事業

写真：工房の様子

写真：たくさんの車輪

写真：車いすでスポーツしている様子

スライド12

ペーパーミラクルズ

http://papermiracles.org/3593-2/

写真：青いガラスのペンダント

写真：織物

スライド13

台湾各地から参加者が集まりました。日本からオンラインの参加者もいてまた、参加者の中には、コミュニケーション手段として、手話や要約筆記、指点字を使用する方もいました。このように、多様な人々が集まってくださったので会場で参加した人たちには強いインパクトを残すことができました。

写真：イベントのチラシ

写真：イベント参加者の集合写真

スライド14

支援者との出会い

講義とイベント依頼された

コスト不要の商品販売の機会を獲得

https://item.rakuten.co.jp/twdirect/food-oktea-03

写真：支援者とのお茶会

スライド15

障害学生自立生活体験ツアー

写真：外出の様子

写真：屋内での様子

スライド16

ワークショップの開発と応用

写真：zoomの画面

写真：zoomの画面

画像：スケジュール

写真：外出の様子

スライド17

街と人の考え方も変えて行く

写真：段差のある道

台北バリアフリーツアー

写真：集合写真

スライド18

社会を変える力を持ってます

写真：フォーマルな会場での集合写真

写真：スロープ前が通行禁止

写真：スロープ前にコーンが複数置かれている

スライド19

写真：太陽光パネル

写真：冊子の表紙

https://develop3.tsg.com.tw/23/greenlink/develop/project\_detail11.htm

スライド20

将来の方向

研修事業

AI技術の開発

インターネット販売

バリアフリーツアー

スライド21

一緒に仲間になりませんか？

Email :

chunil92@gmail.com

写真：ADA25ツアー参加時の写真